

# 風しんに注意しましょう！！

妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんに障がいが残ることがある「風しん」が近畿・首都圏で流行しています！今後全国に広がる恐れがありますので、注意しましょう。

## 〈風しんでどんな病気？〉

風しんウイルスによっておこる感染症で、流行は春先から初夏にかけて多くみられます。

潜伏期間は2～3週間で、主な症状として発疹、発熱、リンパ節の腫れがあります。通常あまり重くない病気ですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症をおこすことがあります。

一度かかると、大部分の人は生涯風しんにかかることはありません。

風しんウイルスは患者さんの飛まつ（唾液のしぶき）などによってほかの人にうつります。発疹のでる2～3日まえから発疹がでたあとの5日くらいまでの患者さんは感染力があると考えられています。

## 〈先天性風しん症候群は何？〉

妊婦さん、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。

これらの障がいを先天性風疹症候群といいます。

先天性風しん症候群がおこる可能性は、風しんにかかった妊娠時期により違いがあります。特に妊娠初めの1～2週までにその可能性が高いことが認められています。

## 〈風しんの予防接種はお済みですか？〉

風しんの予防接種を行う主な目的の一つは、妊婦さんが風しんにかかることによって生まれてくる赤ちゃんが先天性風疹症候群の障がいをもつことのないように、またそのような心配をしながら妊娠を続けることのないように、あらかじめ予防することです。

多くの方が予防接種をうけると、個人が風しんから守られるだけでなく、ほかの人に風疹をうつすことが少なくなり、社会全体が風疹から守られることになります。

## ★予防接種の料金について★

定期接種対象者以外の方は、任意接種となりますので、料金は自己負担となります。金額は医療機関によって異なります。



### 【妊婦さん】

妊娠中は予防接種は受けられません。妊娠中、特に妊娠初期は、風しんにかかっている可能性のある人との接触は可能な限り避けてください。家族の中にワクチン接種記録、または風しんの確実な罹患歴（抗体検査などによって確認されたもの）のない方がいる場合は、至急風しんワクチンの接種をうけるよう勧めてください。もし麻しんワクチンを1歳以上で2回受けたことがない妊婦さんの家族は、風しん予防と麻しん予防の両方の観点から、麻しん風しん混合ワクチンを選択することをお奨めします。

### 【産後間もない方（産後1か月以内）】

妊娠期に抗体陰性または低抗体価だったみなさんはなるべく早く予防接種を受けましょう。母乳中にワクチンウイルスが検出されることがありますが、お子さんに影響はなく、授乳中でも差し支えありません。

### 【成人女性の方】

将来妊娠の希望のある方、妊娠する可能性の高い方は、予防接種をうけることで妊娠中に風疹にかかることを予防できます。また、他の方に風疹をうつすことを予防できます。

### 【お子さん】

定期接種対象のお子さん（1歳児（第Ⅰ期）、小学校入学前1年間の幼児（第Ⅱ期））は無料で接種できますので、必ず受けましょう。

### 【妊娠予定の方のご家族のみなさん】

明らかに風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがある、抗体が陽性であると確認できた方以外は、予防接種を受けましょう。風しんにかかったことが血液検査などで確かめられていない場合（風しんにかかった記憶だけの場合や、医療機関を受診していても症状だけからの診断で、診断が血液検査によって確認されていない場合など）は、必ずしも信頼できません。

これまで風しんの予防接種をうけたことがない方は、なるべく早く予防接種をうけることをお勧めします。たとえこれまで風しんにかかっていたとしても、予防接種を受けることによって特別な副反応がおこることはありません。過去に風しんに感染していても、今、予防接種を受けることで風しんに対する免疫をさらに強化する効果が期待されることもあるのでより安心です。

なお、風しん予防接種の記録は免疫の有無の確認に将来必要です。女性・男性ともに生涯大切に保管してください。



### 【問合せ先】

深川市役所健康福祉課健康推進係  
TEL：0164-26-2609